

老人ホームのパンフレットを見るときチェックポイント

有料老人ホームのパンフレットは、きれいな写真やキャッチコピーが目を引きますが、実際に選ぶ際には「見落としやすいけれど重要な情報」が多く隠れています。今回ご説明するポイントに注意すると、パンフレットから実態をより正しく読み取れます。

老人ホームを検討する際、パンフレットは施設の「顔」ともいえる大切な情報源です。しかし、美しい写真やキャッチコピーだけでは実際の暮らしを判断することはできません。入居後に「想像と違った」と後悔しないためにも、パンフレットのどこをどのようにチェックすべきか、ポイントを整理してご紹介します。

☑ 写真や雰囲気だけで判断しない

- プロ撮影写真は“晴れ舞台”
日常的な様子ではなく、イベントや一時的な演出シーンの可能性があります。
- 写っていない場所も要チェック
廊下、浴室、居室の標準タイプなどが画像で載っていない場合は、現地で必ず確認しましょう。

上記を踏まえて以下の事柄をパンフレットで確認しましょう！

☑ まずは「施設概要」を確認する

パンフレットの表紙や巻末にある施設概要欄には、運営法人・所在地・開設年・施設規模・構造などの施設の信頼性を判断する大切な情報が詰まっています。小さな文字で記載されていることが多いですが、どの施設も同じ項目が記載されているので、比較検討するうえでは大切です。

- 運営法人・設立年
株式会社・医療法人・社会福祉法人など、法人格によって特徴が異なります。法人の歴史や他施設の運営実績も参考になります。
- 施設類型
介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など、種類によって介護サービスの内容や費用体系が異なります。
- 建物・規模・構造
居室数や定員、建物構造（鉄筋コンクリート、木造など）を確認し、耐震性やバリアフリー対応の目安にします。



チェックポイント！

- ☐ 運営法人の種類・実績を確認
- ☐ 開設年・改修履歴を確認
- ☐ 居室数・定員・構造が妥当か

✓ 居室・設備のページで“暮らしやすさ”を読み取る

パンフレットに掲載されている間取り図や写真から、生活動線を想像してみましょう。居室の間取りや設備、共用スペースの有無を確認します。

- 居室面積：一般的には 18㎡程度が多いです
- 設 備：トイレ、洗面台、収納、手すりの有無
- 共用施設：食堂、浴室、談話室、リハビリ室の配置や規模
- 安全設備：ナースコール、防火設備、廊下幅

チェックポイント！

- 居室の広さ・設備が生活に適しているか
- 共用施設や安全設備の充実度
- バリアフリー対応が十分か

✓ 介護・医療体制の“言葉の表現”を正確に読む

介護職員の配置や医療連携、看取り対応の有無を確認します。

- 介護職員配置：日中・夜間の人数
- 看護師体制：常駐か訪問か
- 医療連携：協力医療機関の種類、緊急時対応
- 看取り対応：可能かどうかを確認

チェックポイント！

- 夜間・休日の人員体制を把握
- 医療連携や訪問医療の範囲
- 看取り対応の有無

✓ 料金ページをじっくり確認

パンフレットで最も難解なのが「費用」の部分です。数字だけでなく、内訳の意味を理解しましょう。

- 入居一時金（前払金）
「償却期間」「返還条件」を必ず確認。退去時の返金方法を理解しておくことが重要です。
- 月額利用料
「家賃・管理費・食費・介護費・その他オプション」に分けて表示されているか確認します。「管理費」に何が含まれるかは施設ごとに異なるため、要チェックです。

チェックポイント！

- 月額費用に何が含まれるか把握
- 退去時の返金条件を理解
- 介護度変化による追加費用を試算



- 介護保険自己負担分
介護付きホームでは、介護度によって負担額が変わります。目安表が載っていない場合は見学時に確認しましょう。
- その他費用
理美容・医療費・おむつ代・イベント費などの「実費」がどこまで含まれるかを確認します。

✓食事・生活支援サービスのページを読む

毎日の暮らしの満足度に直結する部分です。

- **食事の内容**：管理栄養士の監修、調理方法、嚥下対応、季節メニューなどが書かれているか確認します。写真は実際の提供食かどうかを見極めましょう。
- **生活支援**
清掃・洗濯・買い物代行・通院付き添いなど、基本料金に含まれるのか、オプションなのかを明確にしておきます。

チェックポイント！

- 食事の質や対応力
- 基本サービスに含まれるか
- 趣味・交流の充実度

✓立地・環境とアクセス

立地条件は入居者本人だけでなく、家族の面会にも影響します。

- **交通アクセス**
最寄り駅からの距離、バス便の有無、駐車場の有無を確認しましょう。高齢者にとって坂道や長い距離の移動は大きな負担です。
- **周辺環境**
病院やスーパー、公園などの生活環境も暮らしやすさに直結します。パンフレットでは「緑豊かな環境」などの表現に注意し、実際の地図や航空写真で確認することをおすすめします。

チェックポイント！

- 最寄り駅からの距離や駐車場の有無
- 施設の周辺の生活環境の確認

✓入居条件と退去条件を忘れずに

意外と見落とされがちなページです。

- **入居時の条件**
「自立」「要支援」「要介護」など、受け入れ対象を確認します。
将来介護度が上がったときに継続して住めるかも重要な確認事項です。
- **退去条件**
「医療行為が必要になったとき」「長期入院したとき」などの条件が記載されているかを見ましょう。

チェックポイント！

- 入居対象の範囲
- 退去条件の明確さ
- 将来の継続可能性

看取り対応の可否もここに書かれている場合があります。

✓比較と質問の準備をする

パンフレットを1つだけ見るのではなく、必ず複数施設を比較するのがポイントです。

- **比較表を作る**
料金、介護体制、立地、食事、医療連携などを一覧化すると、数字と特徴の違いが見やすくなります。
- **質問リストを作る**
パンフレットで不明だった点は、見学時に質問しましょう。
例：「夜間の介護体制は何名ですか？」
「協力病院はどのように関わっていますか？」など。

☑まとめ：パンフレットは“判断の入口”

冒頭でご説明した施設概要欄は、文字が小さく一見地味ですが、そこには「誰が」「どこで」「どのような資格で」「どんな規模で」運営しているかという根幹情報が詰まっています。

パンフレットを読む際には、写真やキャッチコピーよりもまずこの部分をしっかり確認することで、安心して検討を進めることができます。

老人ホームのパンフレットは、施設を知る最初の手がかりであり、印象だけで決めるのは危険です。

見るべきところは、

- ◆ 施設概要で運営母体と信頼性を確認
- ◆ 介護・医療体制で支援の実力を読み取る
- ◆ 料金・条件で将来まで安心できるかを判断

そして、パンフレットで気になる施設が見つかったら、必ず複数の施設を見学に行かれることをお勧めします。

「職員の表情」「入居者の雰囲気」「におい・音・清掃状況」を五感で確かめましょう。

パンフレットは「イメージの資料」ではなく、「質問と比較の出発点」です。

正しく読み取ることで、入居後も安心できる施設選びが実現します。

私どもホームあしすと入居相談室は老人ホームへのご入居をご検討されている方と実際にお会いすることを大切にしています。お会いして、ご希望を伺ったり、施設のご説明したりすることによって、ご検討者様の中でご希望条件やご予算が徐々にまとまっていくことがよくあります。これが面談の大切なポイントです。

このような面談の中からご希望に近い施設と一緒に選び、ご希望があればご見学に同行してお手伝いすることを原則としています。

パンフレットも首都圏を中心に約 3,000 ヶ所を相談室に準備して、各施設を一括してご検討者様にお渡しすることができます。



もしも迷ったときは・・・ ホームあしすと入居相談室へ

高齢者住宅のちょっとした疑問やご質問などがありましたら、「ホームあしすと入居相談室」へご相談ください。ショートステイのお手伝いも致します。

お陰さまで武蔵野市吉祥寺にて開業20年目を迎えました。施設を知り尽くしたプロの視点から、お一人おひとりに合った施設を探し、親身になってご提案いたします。費用シミュレーション（試算）、施設の絞込、ご見学、ご契約、アフターフォローまで、万全の体制でお手伝いさせていただきます。まずはお気軽にご連絡をください。お待ちしております。



プロの観点で
ご提案します

親身になって
万全サポート

相談費用は
いたしません

高齢者向け住まい紹介事業者届出公表制度 届出番号：20-0122

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目28-6-107 迦葉武蔵野第3 吉祥寺駅北口徒歩5分)

受付：10:00～19:00(ご相談は予めご予約ください)

ホームあしと
入居相談室

☎ 0120-428-165

受付10:00～19:00(日曜・祝日は休み※)

<http://senior-support.co.jp/>

ホームあしと